

令和3年度 若槻地区住民自治協議会 人権研修会 男女共同参画セミナー

昨今では、家庭内における男女共同の意識や地域社会への女性参画に対する理解は徐々に進んできていますが、さらにいっそう深めるために人権教育部会では地域住民の男女共同参画に関する意識の向上を目指して、11月22日(月)に以下の内容で役員に対する研修を行いました。

- ① 「絆の会」の皆さんによる人形劇 「男女共同参画って、なあに」
- ② 長野市男女共同参画課 相談指導員藤原美智子氏による講演 「男女共同参画に関する意識の向上」

人形劇は、日常生活において、女性が地域の活動に参加することの大切さと家庭の理解のあり方を具体的な場面を通じて考える内容でした。途中で、村田住自協会長と神頭副会長さんの飛び入り参加があり、盛り上げていただきました。

講演は統計資料を基に説明がありましたが、その中で男女間の格差を表す指数(ジェンダーギャップ指数)が世界で120位であることや、無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)が誰にもよくあり、先入観や固定観念で決めつけてしまっていることがあるので、既成の概念で物事をとらえるのではなく、ジェンダー平等の考えに基づく行動が大切であるということ学びました。(人権教育部会)



若槻の自然の豊かさを実感した6つの溜池と2つの鉱泉巡り

10月16日(土)の午前中 秋晴れにしては汗ばむほどの日差しに恵まれた週末、第3回若槻自然遺産散歩会と第2回モデルコース選定調査を兼ねて若槻東条と上野に点在する溜池と鉱泉を巡ってきました。

若槻支所から歩き始め、蚊里田神社をへて、まずは堂沢の池へ。

堂沢の池は6つの中では最も小さい山の神の池とほぼ同じだが、池の西側に同程度の広がりを持った湿地がありその間に掘割が切られていて、増水時、池からこの湿地に逃す仕組みとなっています。このような「遊水地」を備えた溜池は他に例を見ません。又この湿地には14本ほどハノキが自生していて、人里近くで見られるのは貴重な木なので、若槻自然遺産に追加したいくらいの存在です。

ヨネリ池上部の林一帯に鉱泉が湧き出し周辺に温泉特有の匂いが漂い、少し青みを帯びた乳白色の水が幾筋もの流れを合わせながら池に注いでいます。

上野地区に入り2つ目の鉱泉「上野弁天社の鉱泉」湧き出し口へ、地元住民の暮らしとかかわるエピソードを紹介しました。

戻った林道を横断して上野大池へ、手前でやぶに入りひょうたん池を覗き込みました。

大池の堤防の東端から鐘撞堂池へ。笠松地藏に手を合わせこのコース最後の山の神池に下ります。近年度重なる大雨の影響で池の北側斜面で数か所崩落があり、崩れた歩道を渡り、倒木を跨いだりくぐったりして通過、狭くて深いV字谷の底を下って見晴らしの湯に出、若槻大通りを経て支所に戻り解散しました。約6km余、6つの溜池と2つの鉱泉の他お立ち寄りポイントとしてヨネリ池の「弁財天」碑、上野弁天社、笠松地藏、蚊里田浄水場跡地などの話題も交え4時間の行程でした。

コース順路を示す標識の必要箇所などを現地で確認することが出来ました。

(自然環境部会)



ヨネリ池のほとりでは鉱泉や弁財天碑などのエピソードも含め、溜池にまつわる話を沢山紹介してもらいました。

「若槻自然遺産活用事業」実施報告 街の中の小さな秋を満喫しました。

第3回調査を兼ねて第4回散歩会が11月13日(土)実施されました。

テーマは「街の中の小さな秋を見つけよう」で稲田区内の7つの公園・遊園地と浅川沿いの歩道を巡る延べ約5キロの街歩きでした。参加者は6名(内幼児1名)。

訪れた公園・遊園地はエノキ公園をスタートして歩いた順に以下の通りです。

エノキ公園～南原公園～稲田東公園～一里塚公園～天神木公園～稲田東沖団地遊園地～稲田住宅遊園地～仮称「浅川親水公園(浅川堤防歩道経由)」～エノキ公園に戻る。

新幹線高架橋をくぐり、しなの鉄道の踏切を渡って浅川に面した稲田南原公園は浅川越しに長野電鉄線が走り、3つの鉄道の車両が同時に見られる公園として鉄道マニアの隠れた絶景ポイントになっているという。

一里塚公園は旧北國街道の一里塚で、現在も2つの塚がそろうて残っている貴重な存在です。尚、塚のシンボルだった赤松が松くい虫の被害を受けて伐採され姿を消したことは残念ですが、地元の努力で植樹された次世代の若木が大切に育てられています。

天神木公園は区画整理に併せて開設された今回の巡回対象の中で最も広い公園です。東側に運動広場、西側が芝生の丘で東屋があり、周りにクヌギなどが植えられ、大きなどんぐりが落ち葉と共に芝生や歩道を埋めていました。子供さんがどんぐりをいっぱい袋に詰めて嬉しそうに持ち帰りました。

稲田東沖団地遊園地では参加した幼子にトウカエデのタネを落とし、くるくる回りながら落ちていくのを見せてあげたら、父親に抱きかかえられながら自分で何度も何度も落としてはキャッキヤとはしゃいで喜んでくれました。「公園に来て遊具で遊ぶだけだったけど、こうして自然でいくらでも遊べるんですね」と感激してくれました。

砂田橋から雲雀橋まで浅川沿いに堤防上の歩道を歩きながら、浅川改修工事の際地元などの関係先に配布された資料を基に、吉田小学校の裏一帯の河川敷に「親水公園」をイメージした構想が示されていたことを資料のイラストで紹介しました。

街中なのでコースの順路標識の設置に課題が多いことを実感しました。

尚、当事業実施に当たり、稲田区様にはエノキ公園南に隣接した「リサイクルステーション」の駐車スペースをお貸しいただきましたこと感謝申し上げます。(自然環境部会)



一里塚公園のシンボルだった赤松が数年前に伐採された後、次世代の幼木が植えられています。